



2022年4月1日発行
1916年5月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

YMCA 大阪青年



～創立140周年をむかえて～

大阪YMCAは創立140周年を迎えました。1844年のロンドンから始まり、日本では1880年から、多くの人に愛されながら今日まで歩み続けたYMCA運動。その本質的な意味をあらためて考えてみましょう。

Young Men's Christian Associationはキリスト教青年会と訳され、青年たちがキリストによって集められた団体であることが示されています。YMは、「だれが」というこの団体の主体を表していますが、それは字義通り年齢的な若者ということではなく、神の前に未完成、不完全なすべての人という理解に繋がっています。そのような理解に立つとき、「なぜ」この運動に参加するのか、そこで「なにを」行うのか、その理由と価値をイエスキリストの姿に見出すのがC、それはcauseの表れとも捉えられます。そして、その活動は「どこで」「どんなふうに」行われるものなのかを示してくれるのがAです。創世の神の「人が独りであるのは良くない」(旧約聖書 創世記2章18節)という言葉のように、わたした

ちはひとりでは生きられない存在です。ひとりでないように、みんなが集まれる場所をつくり、分断せずに一致するための働きが求められています。

このように、誰が、なぜ、何を、どこで、どのように行のかを、YMCAという名付けから読み取れるわけですが、ここには「いつ」という時機／時期が含まれていません。時と時間は、人間が創り出すことも操作することもできない領域です。先に述べた創世記のなかで、神は闇に働いて光をもたらし、その日から「夕べがあり、朝があった」と記される天地創造の6日間が始まりました。興味深いのは、神が働くのは昼間ではなく、人が睡眠をとり活動ができない夕べから朝まで、つまり闇に包まれた夜の間であるということです。長い闇の中に取り残されるようなコロナ禍にあって、その間にもたらされる希望の光を感じて、私たちは「今、ここで」なすべきことに取り組むのです。

大阪YMCAでは「VISION 2020」において

「ネットワーク型福祉社会」を目指すことを掲げました。いま、ポストコロナといわれる次の時代を見据えて、創立150周年となる2032年に向けた新しいビジョンの作成が取り組まれています。それは、大阪YMCAで働くみなさん、会員や地域のみなさんが、それぞれに抱く不安、希望、想像、目標といったイメージを出し合いながら紡ぎ出されるものでなければなりません。

「YMCA」という名付けに表されたミッションを受け取った先にあるのは、「行動」という応答です。



大阪 YMCA 会長
い わ さ か に き
岩 坂 二 規

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

ピンクシャツデー (Pink Shirt Day) 2022

～いじめのない世界をめざそう～

ピンクシャツデーとは

2007年にカナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染まり、いじめが自然となくなったそうです。そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の第4水曜日でした。それ以降、2月の第4水曜日には私たちもいじめについて考え、行動する1日としています。

ピンクシャツデーの活動を始めて

ピンクシャツデーの活動を始めて7年目となりました。これまでの継続的な「いじめ反対」運動の取り組みが土台となり、会員や生徒同士がピンクシャツデーについて話したり積極的にピンク色のものを身につけている様子が見られ、この活動が浸透していることを実感しています。昨年から、大阪YMCAの内部に留まらず、団体・企業・地域の展開に力を入れ、賛同者が年々増加しています。今後も「いじめ反対」のメッセージがより多くの人に届き、誰もが自分らしく生きていける社会をめざしていきます。

全国YMCAピンクシャツデーポータルサイト

<https://sites.google.com/a/japanymca.org/pinkshirtday/>



ピンクシャツデーラン

2月23日(水・祝)、大阪城公園内に特設コースを設置し、ピンクシャツデーランを行いました。ランニングベース大阪城との共催で開催したこのピンクシャツデーランは今年で2回目となり、341名が参加しました。このイベントは、コロナ禍で、見えない偏見や差別が助長されている現状、いじめについて考える機会であると同時に、コロナ禍の運動不足解消のきっかけになってほしいという願いで開催しました。今年は新たな企業の参加が増え、カナダ大使館からも後援をいただきました。多くの賛同をいただき、いじめを自分事としてとらえ、世の中から偏見や差別がなくなることを願っています。



花園近鉄ライナーズ ブース出展

花園近鉄ライナーズホームゲーム2試合にブース出展しました。当日はピンクシャツデーの啓発活動として、ピンクシャツデー運動の紹介とメッセージカード記入、写真撮影をしてSNS配信をしました。中には「昔いじめられていたから」とお話しし、いじめ反対について賛同してメッセージ記入をされていた方もいらっしゃいました。約4,000名の観客に、YMCAの活動とピンクシャツデーの運動を伝えました。



ピンクシャツカップ

外部チームとのサッカー交流試合や協賛大会でピンクシャツデーの啓発活動を実施しました。事前にピンクシャツデー運動の案内をしたところ、試合当日、自前でピンクの小物等を準備して写真撮影に応じていただいたチームもありました。試合に参加した幼児・小学生の子どもたちをはじめ、指導者、保護者の方々にも、いじめについて考える機会はもちろん、YMCAの社会課題取り組み運動を知っていただく機会にもなりました。



小学校へのお出前授業

YMCA阿南国際海洋センターのスタッフが阿南市立椿泊小学校で出前授業を行いました。いじめ反対のピンクシャツデーの願い、ひとり一人が一歩行動を起こすことの大切さ、世界中で取り組む運動であることを伝えました。授業の後、子どもたちから受け取ったカードには、「まわりの人に目を向ける」「困った人がいたら声をかける」というメッセージが書かれていました。先生からは、今回の授業のように子どもたちや先生たちに伝えていく必要を感じたという感想がありました。



ピンクシャツデーラン ラグビー選手のみなさま



オリックス・バファローズ球団スタッフのみなさま



岡本依子テコンドースクールのみなさま



堺市立青少年の家のチアリーディングクラブ



阿南市立津乃峰小学校のピンクシャツデーコーナー



南YMCA プレスクールのこどもたち



ピンクシャツデーラン



ピンクシャツデーラン



YMCA学院高校では東京オリンピック・パラリンピックにシッティングバレーでは全日本代表として出場された嵯峨根 望さんをお迎えし、多様性をテーマに講演会を行いました。



カナダ大使館から後援とともにクリアファイルをいただきました。ピンクシャツデーランの抽選会にて配布しました。



徳島県 阿南市のお店にポスター掲示を続けてくださっているGOGOSUP&CAFEさんが、お客さんやスタッフのみなさんと「GOGOピンクシャツデーラン」を実施されました。

ご協力一覧

ピンクシャツデーに様々な形でご協力・ご協賛・後援いただきました。心より感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

● 協賛企業・団体・個人

【ピンクシャツ型カード制作】

YMCAピンクシャツデーのメッセージカード制作、その他いじめをなくすための活動に協賛金でご支援をいただいた皆さまです。

- ・阿南商工会議所
- ・阿南信用金庫
- ・株式会社イマイチ
- ・大阪総合教育支援研究所
- ・サステナブル阿南
- ・株式会社すだっち阿南
- ・西野建設株式会社
- ・株式会社ふる里

【ピンクシャツデーラン開催協賛】

2月23日に大阪YMCAとスポーツクラブNAS様が合同開催したマラソンイベント「ピンクシャツデーラン」にご協賛いただいた企業・団体の皆さまです。

- ・スポーツクラブNAS株式会社
- ・ソフトバンク株式会社
- ・花園近鉄ライナーズ
- ・F.C. 大阪
- ・GalaxyBooks株式会社
- ・大阪市レディースフットボールクラブ
- ・大和リゾート株式会社
- ・大阪城パークマネジメント株式会社
- ・株式会社FPパートナー
- ・非営利団体 Testimony
- ・岡本依子ドリームテコンドースクール
- ・株式会社ミカサ
- ・テコンクラブ Hama House
- ・株式会社ジゴスペック
- ・味の素株式会社
- ・アメアスポーツジャパン株式会社
- ・株式会社ノチダ
- ・葛城煙花株式会社
- ・日新クリエイト株式会社
- ・COLLABO SPORTS
- ・desir beauX
- ・シュライカー大阪
- ・医療法人健志会 ミナミデンタルデザインクリニック
- ・スペランツァ大阪
- ・株式会社ジャパンフットボールマーチャンダイズ(J-GREEN)
- ・W大阪
- ・オリックス・バファローズ

【ピンクシャツデー出展ブースご提供】

1月22日に花園ラグビー場で開催されたゲーム会場のSDGsコーナーに大阪YMCAのピンクシャツデーブースをご提供いただきました。

- ・花園近鉄ライナーズ

● 賛同・協力の学校・教育機関

- ・みくま幼稚園
- ・東豊中幼稚園
- ・とよなか文化幼稚園
- ・天王学園幼稚園
- ・枚岡カトリック幼稚園
- ・樟蔭幼稚園
- ・カトリックさゆり幼稚園
- ・四国大学附属認定こども園
- ・認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園
- ・わかきさ幼稚園
- ・阿南聖母幼稚園
- ・阿南市立椿泊小学校
- ・阿南市立椿泊小学校
- ・阿南市立新野小学校
- ・阿南市立津乃峰小学校
- ・阿南市立椿町中学校
- ・椿保育所
- ・大阪商業大学高等学校

● 後援

- ・文部科学省
- ・大阪府教育委員会
- ・堺市
- ・堺市教育委員会
- ・東大阪市教育委員会
- ・阿南市教育委員会(徳島県)
- ・カナダ大使館

大阪市立水都国際高等学校 一期生卒業式

水都国際中学校・高等学校 うえとこ あつし 上床 敦

3月1日(火)、大阪市立水都国際高等学校第1回卒業式が行われ、一期生72名が3年間の高校生活を終え巣立っていきました。井上 省三校長から、「高校生活で培ってきた、国際理解や探究する力、英語運用能力を今度は皆さんが大学や実社会で示し、皆さんの後に続く後輩たちのために道を切り開いていってください」とメッセージがありました。卒業生からは、「ここ咲洲にある野鳥園臨港緑地は、海鳥が利用する日本で最初の人口の中継地です。そこではこの緑地をシベリアやオーストラリアへ向かう長旅の休息の地とする鳥も見られます。海鳥が羽を休めて飛び立っていくように、私たちもここ水都から世界に羽ばたいていきます。『社会に貢献する協創力』を身につけるべく、水都での経験と思い出を胸に、それぞれの道を歩んでいきたいと思います」と力強い答辞がありました。

校舎の整備も完了していなかった時期に志願して入学した一期生は、この3年間コロナ禍にありながら学校とともに成長してきました。『社会に貢献する協創力』を養うため、学校活動だけでなく、YMCA主催のGYC(グローバルユースカンファレンス)への参加、課外活動の一つとして丸善ジュンク堂書店でのSDGs啓発活動、YMCA日本語学校での日本語チューターボランティアと活動を通して「みつかる、つながる、よくなっていく」を体現しました。生徒の活動により、新たに大使館、総領事館、大学、企業とYMCAがつながりました。一期生の皆さんが水都での学びの上に世界へ羽ばたき、それぞれの道で活躍されることを心から願っています。



2022年度大阪YMCA 年間聖句・年間讃美歌 決定

2022年度 年間聖句

「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。」

(イザヤ書43章5節:新共同訳)

選考理由

神様の温かい眼差しを感じるとともに、勇気づけられる聖句です。将来が見通せない中、どのような苦難の中にあっても神様が共にいてくださることを確信しつつ、「希望を持って、共に生きる社会の実現」をめざす年に相応しい聖句です。

2022年度 年間讃美歌

讃美歌21-18番

「心を高くあげよ！」

選考理由

この讃美歌を歌うと、上を向いて歩んでいこうという気持ちになることができます。不安を感じやすい状況で、神さまを見上げて心を高く上げようという力強いメッセージは、YMCAに集うみんなを励まします。

大阪YMCA 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

■第336回 日 時... 2022年4月15日(金) 7:30~8:15

※朝食会はございません。

証 し... 山根 一毅さん(大阪YMCAグローバル事業グループ長)

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。

問合せ... 大阪YMCA 統括本部 総務

TEL: 06-6441-0894

E-mail: info@osakaymca.org

会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2022年2月度報告(敬称略)

【新規会員】

新田 愛歩
神保 真理恵
杉阪 美友
徳山 梨琴
中西 碧
仁木 峻平
橋本 茉琴
細見 茉世

井関 美潮
岡田 由季恵
片山 咲
加藤 夏実
川西 真愛美
川端 泰子
神保 美保子
杉野 真優
高橋 舞帆
田中 優梨恵

那須 遥佳
西川 真由
藤井 道雄
藤川 愛
堀 日菜子
宮前 瞳
吉岡 大樹
吉谷 仁恵

【継続賛助会員】

株式会社イマイチ
朝陽電気株式会社
株式会社藤木工務店

【継続会員】

荒島 陽
出原 廣太

谷平 ののか
鶴村 友紀
永井 美聡

大阪YMCAクリスマス献金へのご協力 ありがとうございました。

(敬称略)

アイリスオーヤマ株式会社
宇埜 充洋
工藤 義正
小林 直樹

サンホーム クリスマス会バザー
サンホーム チャリティーコーヒー
長尾 聡
表コミ 募金箱

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください
ます。

